



PARAMOUNT BED
HOLDINGS

2021年3月期 決算説明会

2020年4月1日 ~ 2021年3月31日

2021年5月20日

証券コード：7817

パラマウントベッドホールディングス株式会社

as human, for human

新型コロナウイルスの影響

生産面の影響は軽微。
営業面で特に医療分野への影響が大きい。
今後も営業活動・納品活動等への影響を注視する必要あり。

2021年3月期決算

増収増益。営業利益は2014年3月期以来7期ぶりに過去最高益を更新。
期末配当を3円増配。

パラマウントビジョン2030

中期経営計画の期間変更及び業績目標の公表

ビジョン第Ⅰフェーズの最終年を2024年3月期へ変更。
2024年3月期売上890億円、営業利益120億円を目指す。
第Ⅱフェーズ以降の成長に向けた基盤強化等への投資を加速。

生産面の影響

結果として影響は軽微。引き続き部材調達先との連携も強化し安定供給維持を図っていく。

営業面の影響（医療事業）

依然として多くの病院の経営が悪化。一部、納入延期要請も。海外では国によって状況は異なるものの営業活動の正常化はまだ先。

営業面の影響（介護事業）

一時混乱や営業活動への制約があったものの、結果として業績影響は軽微。「眠りSCAN」「楽匠プラス」「こちあ利楽flow」等の製品販売が寄与。

営業面の影響（健康事業）

プロモーション強化により巣ごもり需要を取り込む。

1. 2021年3月期 決算概要
2. 事業別概要
3. 2022年3月期 見通し
4. トピックス

1. 2021年3月期 決算概要

1-1. 決算概要

増収増益決算、営業・経常過去最高益

期末配当を3円増配。年間配当金は103円に。

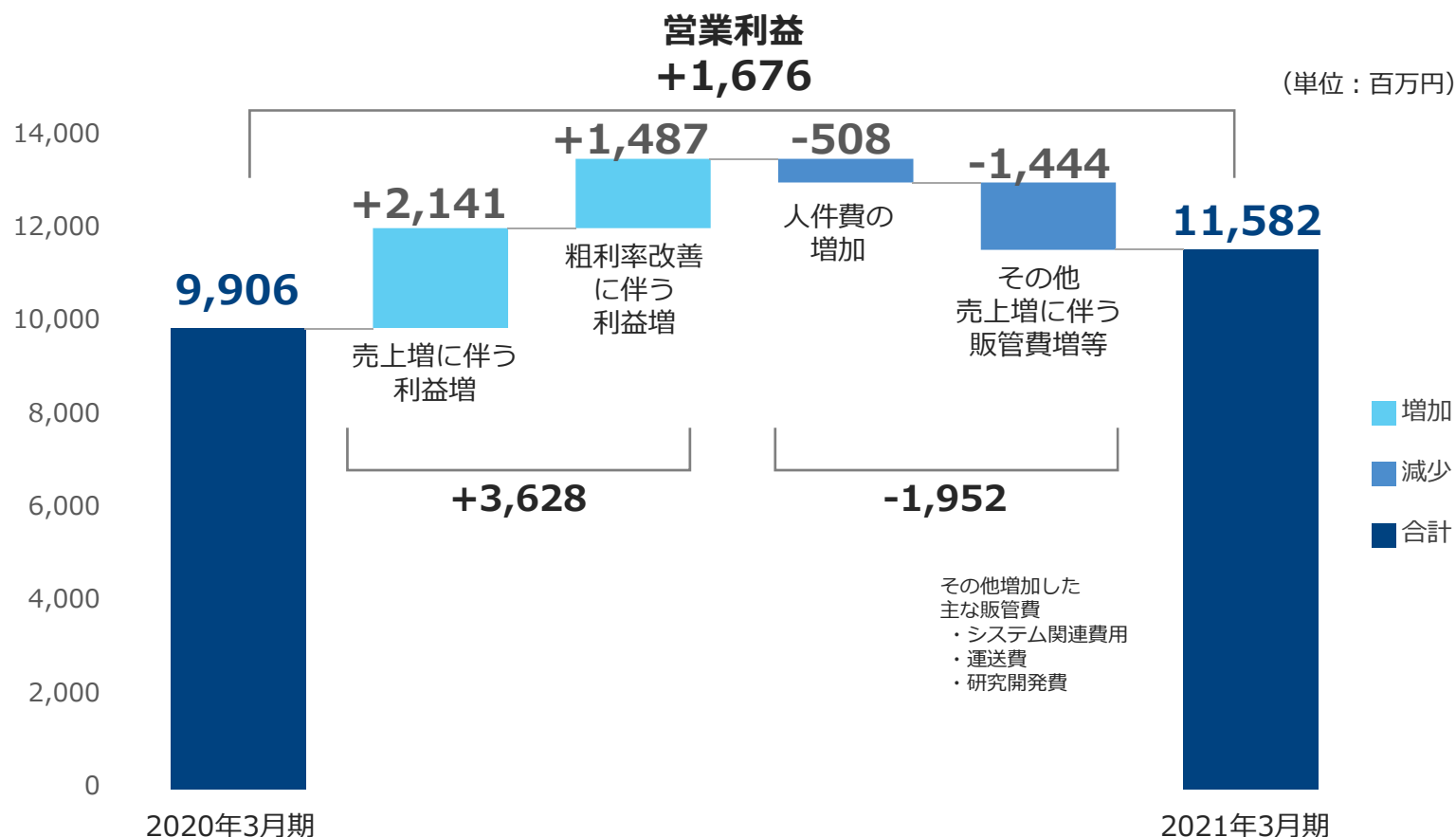
(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期			
	実績	予算	実績	予算比	前期比
売上高	82,379	84,000	87,171	+3.8%	+5.8%
営業利益 (営業利益率)	9,906 (12.0%)	10,800 (12.9%)	11,582 (13.3%)	+7.2%	+16.9%
経常利益 (経常利益率)	10,145 (12.3%)	11,200 (13.3%)	13,461 (15.4%)	+20.2%	+32.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	7,043 (8.5%)	7,000 (8.3%)	8,611 (9.9%)	+23.0%	+22.3%
年間配当金	100円	-	103円	-	+3.0%

1-2. 営業利益増減要因

製品販売増加等により粗利率が1.7ポイント改善

販管費はレンタル卸を中心に人件費、システム関連費用、運送費などが増加。



1-3. 財務の状況

純資産67億56百万円増

(単位：百万円)

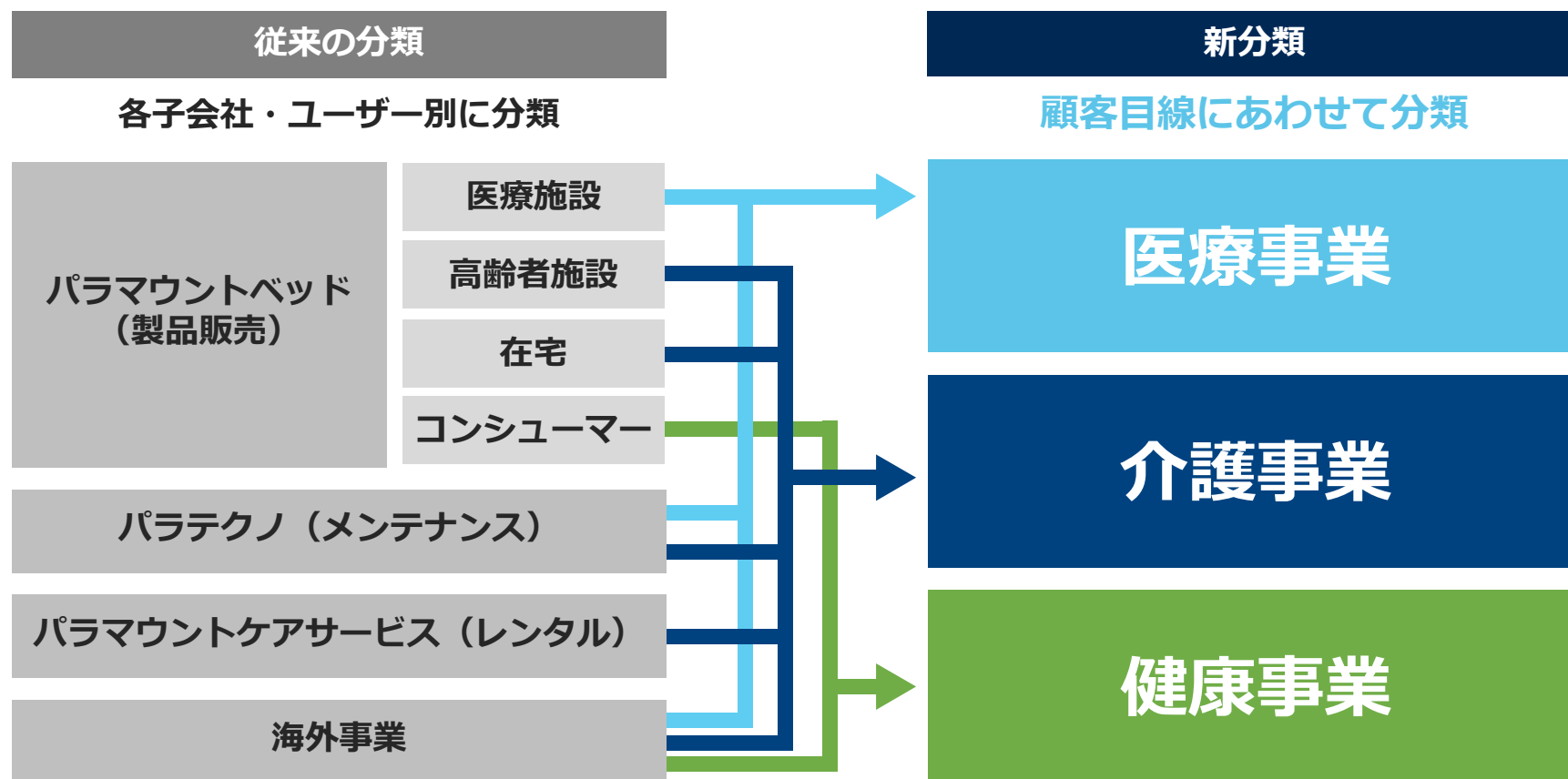
	2020年3月末	2021年3月末	増減額	前期比
流動資産	76,848	86,144	+9,296	+12.1%
固定資産	67,409	68,213	+804	+1.2%
資産合計	144,257	154,358	+10,101	+7.0%
流動負債	22,212	23,720	+1,508	+6.8%
固定負債	14,978	16,814	+1,836	+12.3%
負債合計	37,191	40,535	+3,344	+9.0%
純資産	107,066	113,822	+6,756	+6.3%
負債・純資産合計	144,257	154,358	+10,101	+7.0%

2. 事業別概要

2-0. 新中計における事業分類の変更

顧客目線にあわせて事業分類を変更

医療事業・介護事業・健康事業の新分類へ



2-1. 医療事業実績

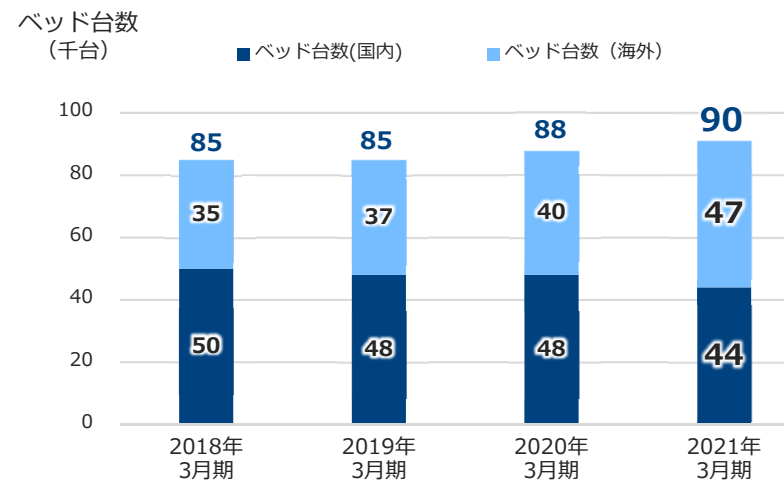
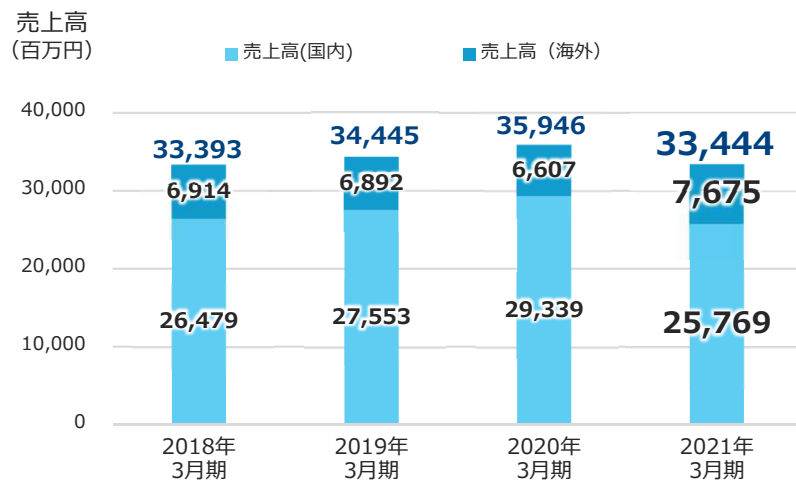
下期持ち直すも マイナス

国内はほぼ10月発表の
計画通り。

メンテナンスは底堅い。
海外は病床整備案件により
台数が初めて国内を上回る。

(単位：百万円)	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	
				実績	前期比
売上高	33,393	34,445	35,946	33,444	-7%
国内	26,479	27,553	29,339	25,769	-12%
海外	6,914	6,892	6,607	7,675	+16%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	
				実績	前期比
ベッド販売台数	85	85	88	90	+3%
国内	50	48	48	44	-8%
海外	35	37	40	47	+17%



2-2. 介護事業実績

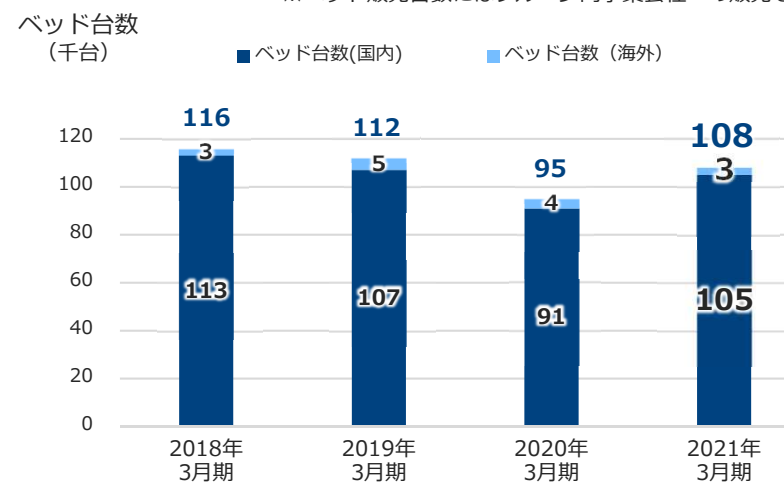
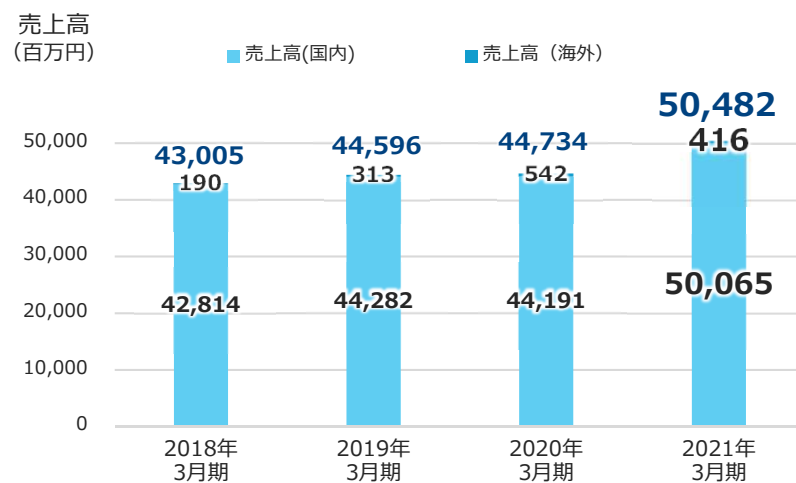
施設向けも持ち直し トータル+13%

施設向けは前期比10%増。
眠りSCANは3.6万台。
在宅向け新ベッドが好調で
前期比14%増。
レンタル卸も順調。
新マットレスが寄与。

(単位：百万円)	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	
				実績	前期比
売上高	43,005	44,596	44,734	50,482	+13%
国内	42,814	44,282	44,191	50,065	+13%
海外	190	313	542	416	-23%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	
				実績	前期比
ベッド販売台数	116	112	95	108	+13%
国内	113	107	91	105	+15%
海外	3	5	4	3	-37%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



2-3. 健康事業実績

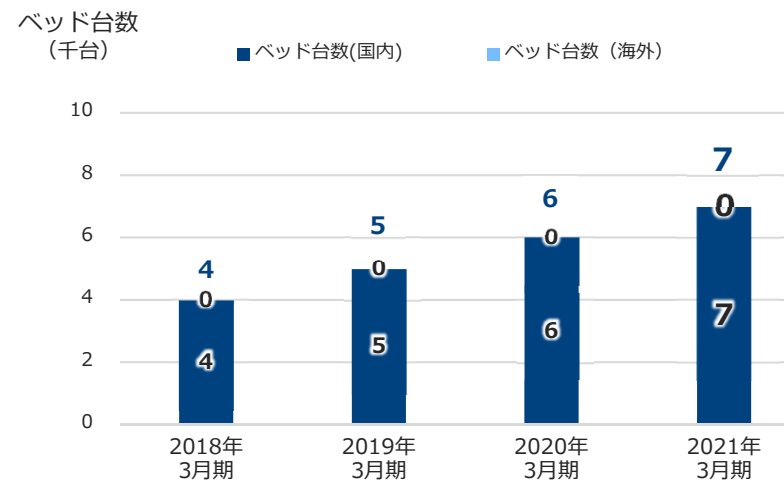
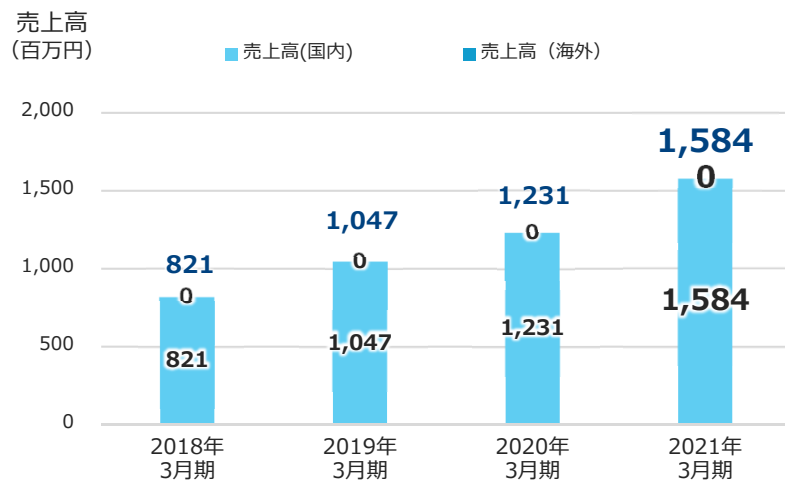
売上高29%増

テレビCMリニューアル。
SNS関連PRを強化。
巣ごもり需要を取込む。

(単位：百万円)	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	
				実績	前期比
売上高	821	1,047	1,231	1,584	+29%
国内	821	1,047	1,231	1,584	+29%
海外	0	0	0	0	0%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

ベッド販売台数	4	5	6	7	+26%
国内	4	5	6	7	+26%
海外	0	0	0	0	0%



2-4. 事業別実績一覧

「その他」の数字は2019年10月に子会社化したサダシゲ特殊合板株式会社。2021年3月期は通年寄与。

売上高

(単位：百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	
	実績	実績	前期比
医療事業	35,946	33,444	-7%
国内	29,339	25,769	-12%
海外	6,607	7,675	+16%
介護事業	44,734	50,482	+13%
国内	44,191	50,065	+13%
海外	542	416	-23%
健康事業	1,231	1,584	+29%
国内	1,231	1,584	+29%
海外	0	0	0%
その他	467	1,659	+255%
合計	82,379	87,171	+6%

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

	2020年 3月期	2021年 3月期	
	実績	実績	前期比
	88	90	+3%
国内	48	44	-8%
海外	40	47	+17%
	95	108	+13%
国内	91	105	+15%
海外	4	3	-37%
	6	7	+26%
国内	6	7	+26%
海外	0	0	0%
	—	—	—
合計	188	205	+9%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

2-5. 海外地域別売上高

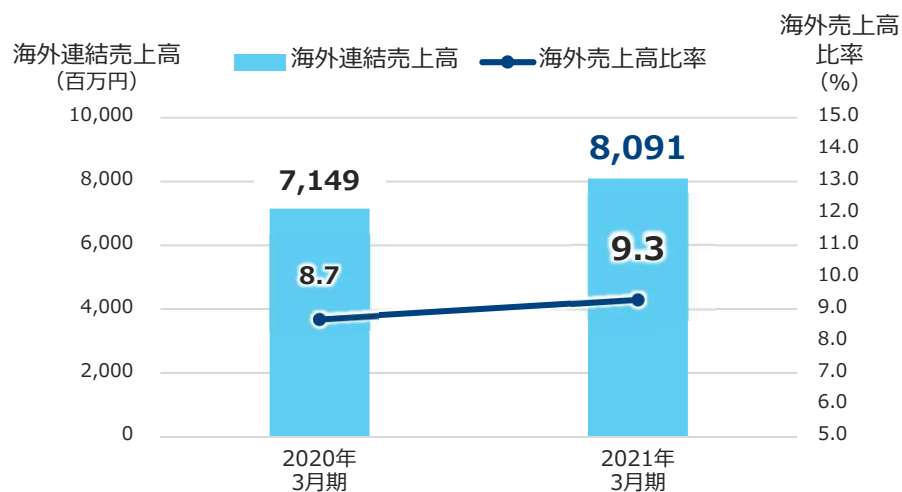
前期比13%増

インドネシア、メキシコ等において緊急病床整備需要が発生。
中国は上期ロックダウンが直撃するも下期持ち直し前期比プラスに。

(単位：百万円)	2020.3	2021.3	前期比
海外連結売上高	7,149	8,091	+13%
海外売上高比率	8.7%	9.3%	-

地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2020.3	2021.3	前期比
アジア	6,429	6,914	+8%
インドネシア	2,343	3,057	+30%
中国	2,157	2,199	+2%
その他アジア	1,928	1,656	-14%
中東	150	222	+48%
中南米	418	808	+93%
その他	152	147	-3%



3. 2022年3月期 通期見通し

3-1. 通期見通し

当期より「収益認識に関する会計基準」を適用

配当は年間53円を予定。分割を考慮すると増配見込み。

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
	実績	上期	下期	通期見通し	前期比※1
売上高	87,171	39,000	42,000	81,000	—
営業利益 (営業利益率)	11,582 (13.3%)	5,000 (12.8%)	5,600 (13.3%)	10,600 (13.1%)	—
経常利益 (経常利益率)	13,461 (15.4%)	5,250 (13.5%)	5,750 (13.7%)	11,000 (13.6%)	—
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	8,611 (9.9%)	3,450 (8.8%)	3,750 (8.9%)	7,200 (8.9%)	—
年間配当金※2	103円	26円	27円	53円	—

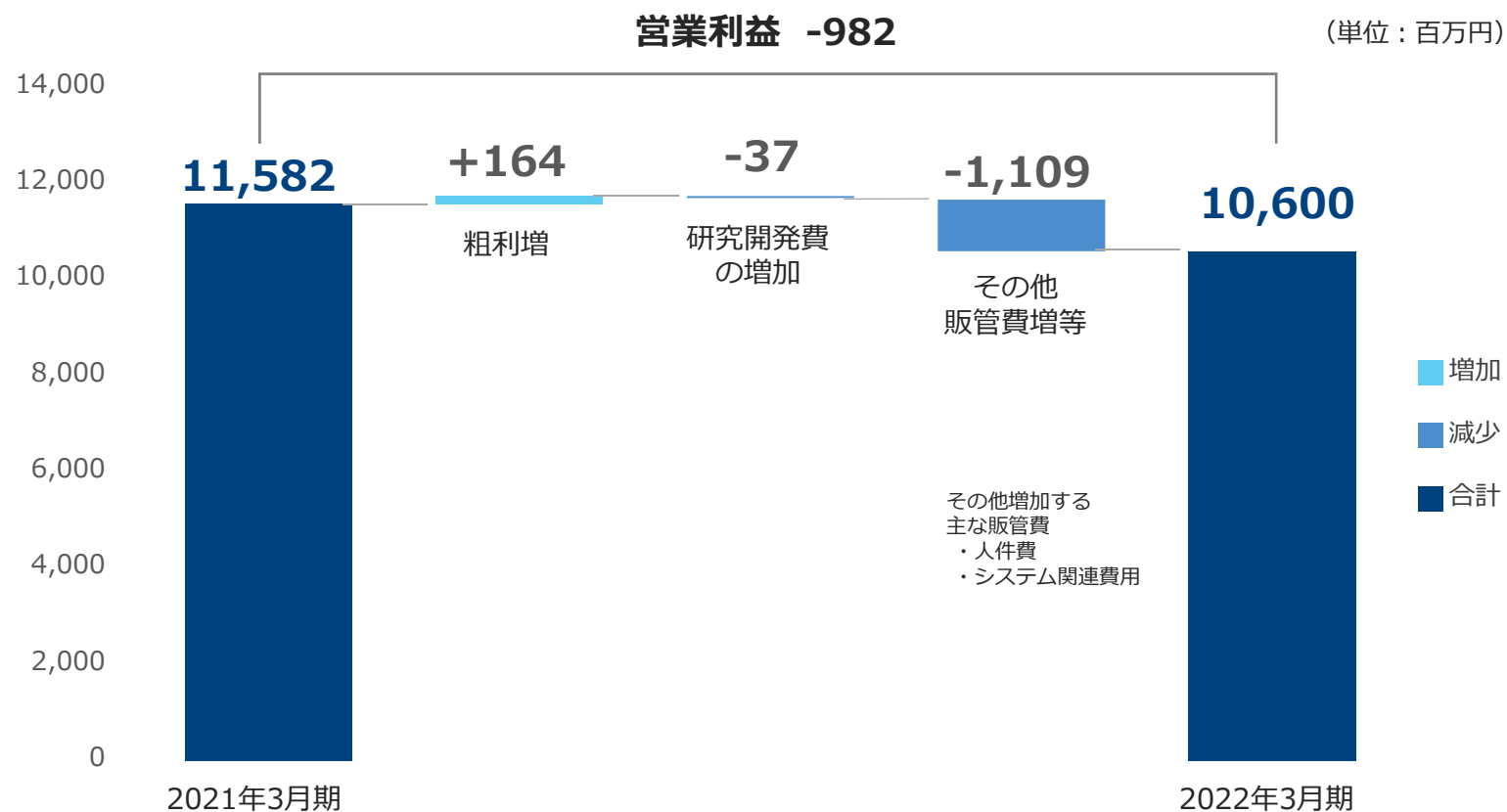
※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、対前期増減率は記載していません。

※2:2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2021年3月期の実績は分割前の実数を記載しています。

3-2. 営業利益増減要因

粗利は微増

将来の成長に向けた費用増加により減益。



3-3. 医療事業見通し

国内環境は依然 厳しい状況が続く

医療向けに「眠りSCAN」
を拡販。

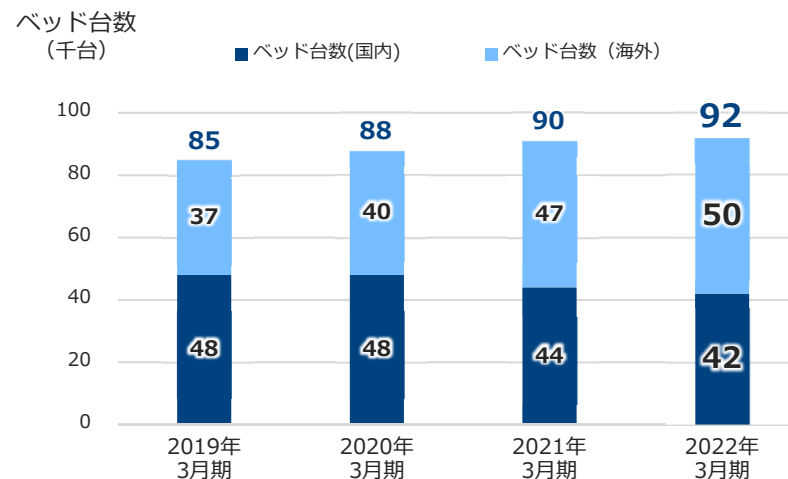
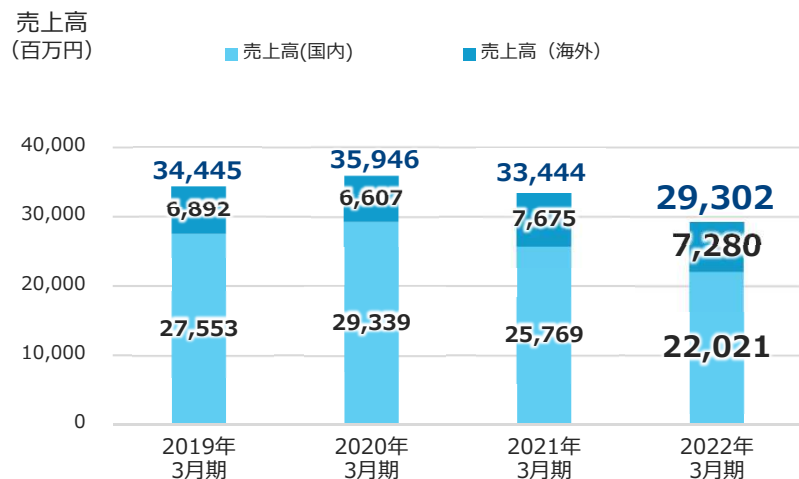
メンテナンス業務から更新・
サービス需要を喚起。
海外は中国を中心にICU等
の病床整備案件を取り込む。

(単位：百万円)

	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	
				見通し	前期比
売上高	34,445	35,946	33,444	29,302	—
国内	27,553	29,339	25,769	22,021	—
海外	6,892	6,607	7,675	7,280	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	
				見通し	前期比
ベッド販売台数	85	88	90	92	+1%
国内	48	48	44	42	-4%
海外	37	40	47	50	+7%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-4. 介護事業見通し

新製品効果一巡も トータルで台数増

レンタルは堅調を維持。
眠りSCANは大口案件減も
医療含め3.9万台を見込む。

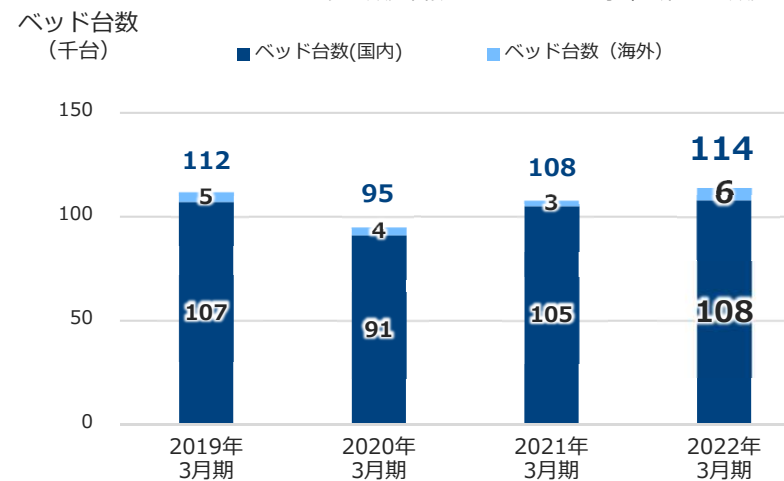
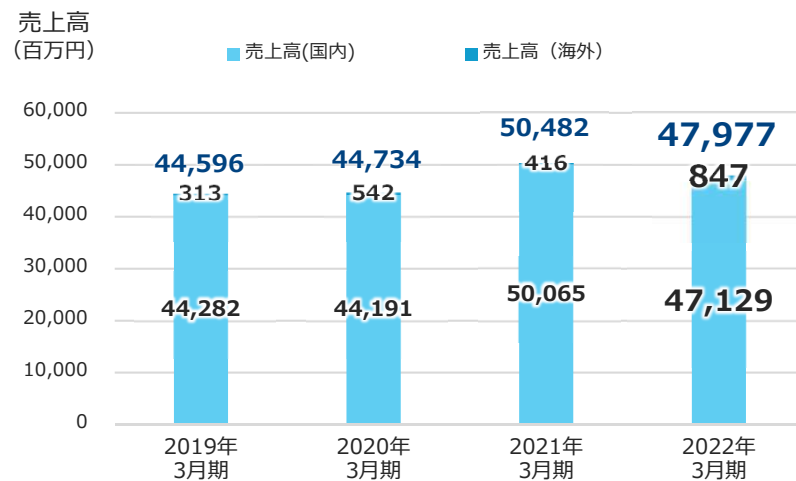
(単位：百万円)

	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	
				見通し	前期比
売上高	44,596	44,734	50,482	47,977	—
国内	44,282	44,191	50,065	47,129	—
海外	313	542	416	847	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	
				見通し	前期比
ベッド販売台数	112	95	108	114	+6%
国内	107	91	105	108	+3%
海外	5	4	3	6	+119%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-5. 健康事業見通し

引き続き拡大 を見込む

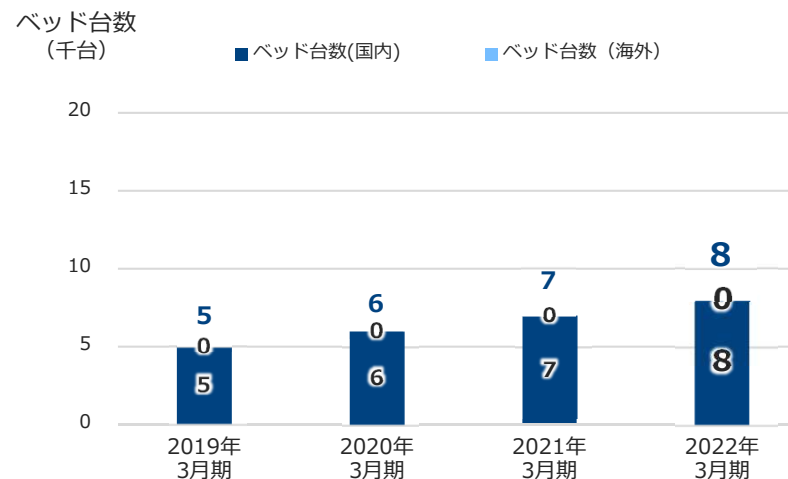
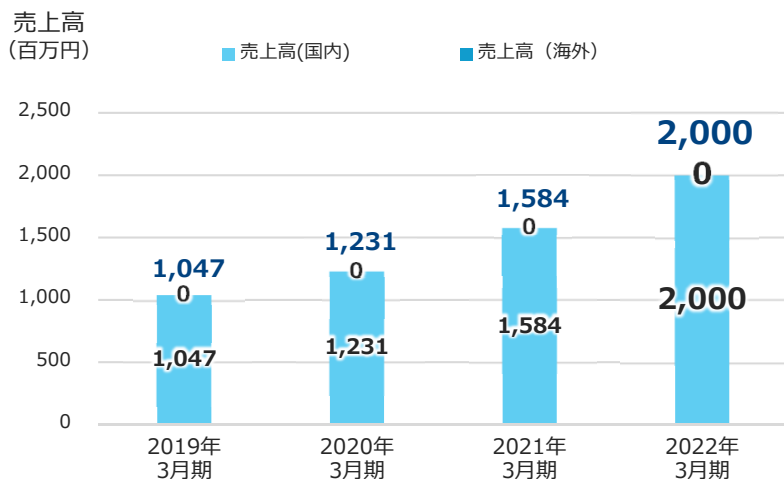
SNS関連を中心にPR強化。
新たな顧客獲得に向け
新しいアプリやサービスも。

(単位：百万円)

	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	
				見通し	前期比
売上高	1,047	1,231	1,584	2,000	—
国内	1,047	1,231	1,584	2,000	—
海外	0	0	0	0	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	
				見通し	前期比
ベッド販売台数	5	6	7	8	+14%
国内	5	6	7	8	+14%
海外	0	0	0	0	0%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-6. 事業別一覧

売上高

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	
	実績	見通し	前期比
医療事業	33,444	29,302	—
国内	25,769	22,021	—
海外	7,675	7,280	—
介護事業	50,482	47,977	—
国内	50,065	47,129	—
海外	416	847	—
健康事業	1,584	2,000	—
国内	1,584	2,000	—
海外	0	0	—
その他	1,659	1,720	—
合計	87,171	81,000	—

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

	2021年 3月期	2022年 3月期	
	実績	見通し	前期比
	90	92	+1%
国内	44	42	-4%
海外	47	50	+7%
	108	114	+6%
国内	105	108	+3%
海外	3	6	+119%
	7	8	+14%
国内	7	8	+14%
海外	0	0	0%
	—	—	—
合計	205	214	+4%

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

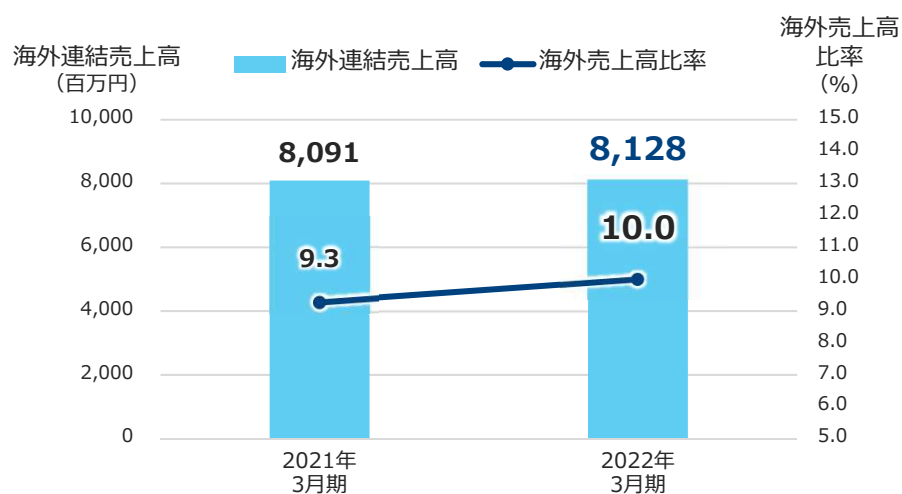
3-7. 海外地域別売上高

緊急整備需要の反動あるも中国・その他アジアが増

(単位：百万円)	2021.3	2022.3 見通し	前期比
海外連結売上高	8,091	8,128	—
海外売上高比率	9.3%	10.0%	—

地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2021.3	2022.3 見通し	前期比
アジア	6,914	7,217	—
インドネシア	3,057	3,053	—
中国	2,199	2,333	—
その他アジア	1,656	1,831	—
中東	222	186	—
中南米	808	535	—
その他	147	189	—



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-8. 設備投資等

減価償却はPCSレンタル資産等が引き続き増加

設備投資は新マットレス工場及び営業支店の移転関連が一服。

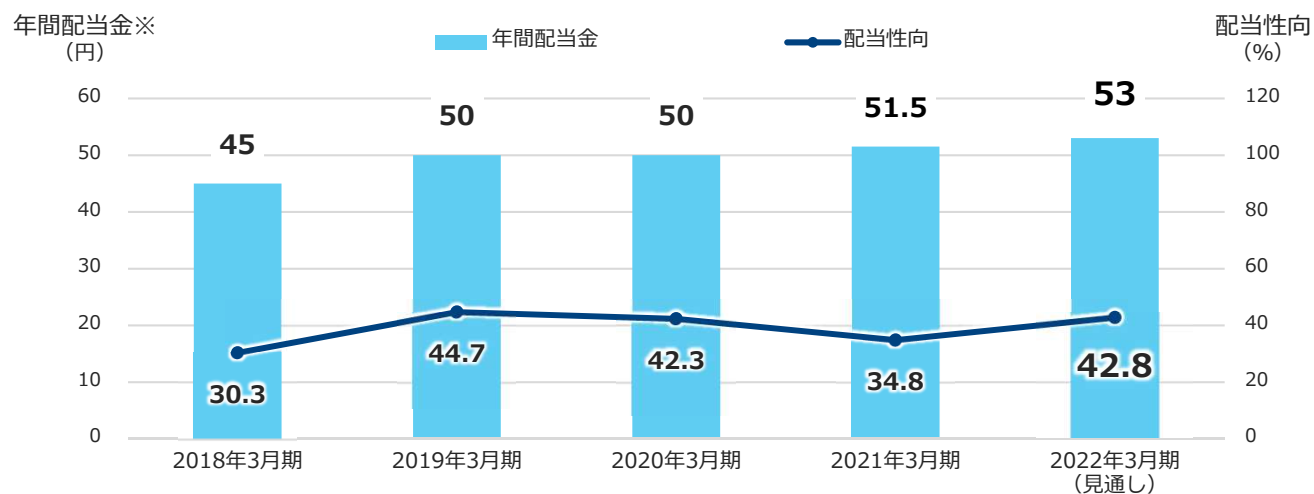
(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 予算
設備投資費	2,082	3,984	2,976	2,342
減価償却費	6,362	6,895	7,540	8,036
研究開発費	1,642	1,677	1,782	1,819
従業員数	3,224	3,494	3,614	-

3-9. 株主還元 (配当・自己株取得)

基本方針：純資産配当率 2.7%、配当性向 30%を目安に 安定配当

2022年3月期は年間53円を予定。実質増配見込み。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 見通し
年間配当金※	45円	50円	50円	51.5円	53円
純資産配当率 (DOE)	2.7%	2.8%	2.7%	2.7%	-
配当性向	30.3%	44.7%	42.3%	34.8%	42.8%
自己株取得額	0円	0円	4,382百万円	0円	-



※当社は2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
上記は、2017年4月1日に当該分割が行われたと仮定した1株当たりの年間配当金を算定しています。

4-1. トピックス

中期計画の期間を変更し業績目標を公表 (2021年4月)

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで すべての人に笑顔を

第Ⅰフェーズ
中期経営計画
(2020.4-2024.3)

第Ⅱフェーズ
(2024.4-2027.3)

第Ⅲフェーズ
(2027.4-2030.3)

「現行ビジネス拡大」
「健康事業本格化」
「変革への基盤構築」

2024年3月期の業績目標

売上高	890億円
営業利益	120億円
営業利益率	13.5%

SDGsや社会貢献への取り組み、人材基盤強化・基幹システム刷新

4-2. トピックス

健康事業PRの強化

INTIMEのテレビCMをリニューアル

出稿量も増加

ラジオCMをスタート

SNSを中心にweb動画広告出稿も増加



リニューアルしたINTIMEのテレビCM。



Active Sleep BEDのテレビCM。



TBSラジオ「イモトアヤコのすっぴんしゃん」
(毎週水曜21時30分～)へCM提供中。

2021年4月度業類別CM好感度ランキング

住設・用品カテゴリー65銘柄中No.1を獲得

※CM総合研究所調べ

4-3. トピックス

在宅介護向け「楽匠プラスシリーズ」を8月に発売

- 6年半振りの主力モデルのフルリニューアル。
- 骨盤から起こす新しい背上げ機構。
- 使い勝手向上のための2つのアプリを用意。
- スマートフォンがリモコン代わりに。
- ベッドからの通知をスマホで受信。
- 事業者用の自動点検機能を搭載。

- 2020年8月発売。
- オープン価格。



←詳細はこちら



「楽匠プラスシリーズ」ベッド



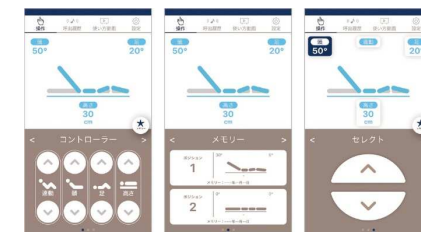
骨盤を支える独自の構造でずれや圧迫感の少ない安定した背上げを実現。



ベッドの呼び出しボタンを押すと家庭内の設定したスマホに通知。



スマホでのベッド操作が可能。押しやすいボタン配置を選べます。



4-4. トピックス

床ずれ防止エアマットレス「こちあ利楽flow」を10月に発売

- 電源を入れるだけ設定不要の全自動モデル。
 - AI機能により体重や体型、姿勢を検知。
 - 状態にあわせて圧力を自動調整。
 - 自動体位変換機能を搭載。
 - 背上げ姿勢を保持するバックサポート機能。
 - 厚さ17cm、最高クラスの体圧分散性。
-
- 2020年10月発売。
 - オープン価格。



床ずれ防止エアマットレス「こちあ利楽flow」

注意事項

本資料に記載した業績等に関する予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

従いまして、実際の業績は今後様々な要因により、記載した予想数値と異なる可能性があります。

本資料の金額表示は切り捨て表示しています。

予算比・前期比における%表示は、増減について±記号を用い、四捨五入表示しています。